

医療人としての成長を1～6年の間継続して評価するためのルーブリック

薬剤師として求められる基本的資質（10の資質）について考察し、以下の7項目についてルーブリックを定めることとした。

【基礎的な科学力】は筆記試験により評価可能であることから、
 【薬物療法における実践的能力】については、4年次以降に別立てとして定めるとして、それぞれ外すこととした。

【薬剤師としての心構え】【患者・生活者本位の視点】
 スタンドアード

医療の担い手として、薬剤師の義務・役割を知り、関連する法令を遵守して、行動する。

4 キャップストーン	3 マイルストーン	2 マイルストーン	1 ベンチマーク
国民の健康を守る担い手としての薬剤師の使命感と責任感を有している。	薬剤師の使命について考え、その責務について理解している。	薬剤師は医療人であり、薬事関連法規などに基づき行動すべきことを知っている。	薬剤師国家試験に合格し、厚生労大臣が免許を与えなければ薬剤師になれないことを知っている。

スタンダード

豊かな人間性を有し、生命の尊厳について深く考え、患者や生活者、その家族の立場に立って行動する。

4 キャップストーン	3 マイルストーン	2 マイルストーン	1 ベンチマーク
豊かな感性を有し、医療人としての倫理観を身につけている。	多様な価値観や人間性を理解し、薬学生として行動する。	多様な人間関係を経験し、薬学生として（薬学を学ぶものとして）患者や生活者、その家族の気持ちを考える。	いのちは尊いことを知っている。

【コミュニケーション能力】

スタンダード

患者・生活者、他職種から適切に情報を収集し、これら人々に有益な情報を提供する。

4 キャップストーン	3 マイルストーン	2 マイルストーン	1 ベンチマーク
患者・生活者、他職種に関わる情報を収集・整理し、提供するためのコミュニケーション能力を有している。	薬剤師には高いコミュニケーション能力が必要であることを知っている。	良好なコミュニケーションを得るために、自らの振る舞い（ルールやマナー）に配慮する。	他者と有効な関係を作ることが重要だと考える。

【チーム医療への参画】

スタンダード

医療機関や地域において、薬剤師として多職種と連携し、協働する。

4 キャップストーン	3 マイルストーン	2 マイルストーン	1 ベンチマーク
患者・生活者の健康の維持・向上のために多職種と連携できる。	多職種それぞれの役割を理解している。	薬剤師として活動する上で、チーム形成の重要性を理解している。	医療には多職種が関わっていることを知っている。

【地域の保健・医療における実践的能力】

スタンダード

地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上のために、地域の保健、医療、福祉、介護および行政などに参画・連携する。

4 キャップストーン	3 マイルストーン	2 マイルストーン	1 ベンチマーク
地域および社会における人々の健康増進、公衆衛生の向上のために貢献できる。	薬剤師にとって、衛生薬学に関する知識が必要であることを理解している。	地域・社会において薬剤師が公衆衛生に貢献していることを知っている。	地域社会に薬剤師が必要であることを知っている。

【研究能力】

スタンダード

薬学・医療と進歩と改善のために、自ら問題を発見し、解決するよう努める。

4 キャップストーン	3 マイルストーン	2 マイルストーン	1 ベンチマーク
医療における問題の性質を理解して、自ら適切な行動をとる（実践する）	薬学における知識を得ることは、自ら問題を発見し解決するために、必要であることを知っている。	医療には、さまざまな問題があることを知っている	薬剤師には、新しい知識を得る努力が必要であることを知っている。

【自己研鑽】【教育能力】

スタンダード

自己研鑽を継続すると共に次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。

4 キャップストーン	3 マイルストーン	2 マイルストーン	1 ベンチマーク
薬剤師として活動する上で、他者と共に学び共に育とうする意欲を有する。	自ら得た知識や経験を他者との関わりの中で活用する。	大学における学修は、自学自修が基本であることを理解している。	自習が重要であることを知っている。